

# 育児相談研修会

期日

東部 令和元年十一月六日 (水)

中部 令和元年十一月十九日 (火)

西部 令和元年十一月十一日 (月)

会場

東部 沼津市民文化センター

中部 静岡音楽館AOI

西部 アクトシティー浜松

テーマ

「親への対応」話の聞き方、伝え方、話の引き出し方」

講師 ひととき保育高井戸

施設長

磯田節子氏



今年も育児相談研修会が東部・中部・西部の三会場で開催されました。この研修は保育所・認定こども園で相談業務に携わる職員に対し、保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる専門知識や技術等、実践的な能力を習得することを目的に、東京都にあるひととき保育高井戸施設長の磯田節子氏にお願いしました。



参加者全員笑顔で握手をする自己紹介から始まった午前の研修は、カウンセリングの定義や基本技法などを交えながら、保護者への対応で大事となる傾聴の基礎についてのご講義をいただきました。実際に磯田先生と参加者の対話実技があり、今後に活かせる大変有意義な学びとなりました。

午後の研修はグループワークが中心で、園で起こる事例を基に参加者同士が午前の講義で学んだ、傾聴やカウンセリング技法を用いて、ロールプレイを行いました。また、共同作業として、紙コップを使用したボウリングゲームやストローとはさみのみでより高いタワーをつくることにもグループで挑戦しました。ストロータワーづくりを通し、高く積み上げるのには土台が大事であり、保育士・保育教諭は人の土台を作っているということを先生のお言葉より学びました。

研修の終わりに磯田先生より、「自分ほど大事なものは無い。自分の社会性・人間力・専門性を高めること。自分を好きになり、自信を持ち、ともに学び合い、成長してほしい。一歩でも半歩でも前に進もうとすること。そうすれば仕事が楽しくなる。自身の目標を持つてもらいたい。」とのメッセージをいただき、明日への活力となる大変有意義な研修となりました。

